

小学館 代表取締役社長 相賀昌宏 様

『女性セブン』『週刊ポスト』『NWS ポストセブン』における
捏造に基づく皇室記事の人権侵害、児童虐待、性差別に抗議します

私たち、『皇室問題 INDEX』開設準備室は、昨今の皇室報道の著しい偏向、皇族女性に対する人権侵害に危機感をおぼえ、皇室報道の真偽を検証する活動をインターネット上で行っています。

御社発行の『女性セブン』(2015年12月18日号)の「『愛子さまをなぜ叱らない』上級生が団結の抗議」という記事は、明らかな捏造に基づいて敬宮愛子内親王殿下に対する誹謗中傷を行っています。当該記事は『週刊ポスト』(同19日号)にも形を変えて掲載され、翌日には『NWS ポストセブン』に転載、ネットに流されました。

この捏造記事は、内親王という公的お立場にあるとはいえ、13歳の児童に対する見過ごすことができない人権侵害であり、児童虐待であり、また、皇位継承問題に連動した性差別に基づく卑劣なバッシングであり、強い憤りを禁じ得ません。ここに、当該記事の問題点を明らかにし、当準備室に寄せられた抗議コメントをとりまとめ、お送り致します。

御社におかれましては、当該記事の捏造を認め、『女性セブン』『週刊ポスト』『NEWS ポストセブン』において、修正と謝罪をされるよう求めます。また今後、こうした人権侵害、児童虐待、性差別に該当する卑劣な偏向記事を掲載することがないように、編集方針を是正されるよう求めます。とくに、『女性セブン』は他社の皇室報道に比べても悪質さにおいて突出し、敬宮愛子内親王殿下に対する著しい人権侵害を長きにわたり継続しています。強く抗議し、是正を求めます。

もし今後、さらなる偏向報道が繰り返し継続される場合、当準備室は、そのペンの暴力を広く世界に訴える、新たな抗議手段を検討して参ります。次ページ以降に示す抗議内容をご精読のうえ、御社の見解をお示しくくださるよう、お願いいたします。

2015年1月30日

『皇室問題INDEX』開設準備室 管理人

<http://blog.goo.ne.jp/index2013>

mail : __

●本抗議書の構成

【1】『女性セブン』（2014年12月18日号）掲載記事の問題点について

- P 3- 4 <問題点その1>捏造であること
- P 4- 5 <問題点その2>人権侵害、児童虐待であること
- P 5- 6 <問題点その3>性差別に基づくバッシングであること
- P 6 注 1-2

【2】当準備室に寄せられた抗議コメントの紹介

- P 7-15 小学館の皆さま、社長さまに申し上げます。
- P16-17 「事実を曲げた記事」を書かないでください。
- P18-22 報道の自由？ いいえ『児童虐待』です。
- P23-27 バッシングの根本には、世界に恥ずべき『性差別』があります。
- P28-31 なぜ、佳子さま悠仁さまの問題多い実態は看過されるのですか？
- P32-34 偏向報道の背景には、「権力におもねる報道の腐敗」があります。
- P35 注 1-3

なお、本抗議書の前半部分（P1～P6）については、当準備室の専用ページに同文を掲載し、御社からのご対応も当該ページにおいて報告することとします。

【1】『女性セブン』（2014年12月18日号）掲載記事の問題点について

当該記事の問題点について、当準備室の専用ページ（注1）にて検証しました。以下に、その検証内容の要旨を示します。

<問題点その1>捏造であること

『女性セブン』の当該記事「『愛子さまをなぜ叱らない』上級生が団結の抗議」には、次のように書かれています。

>「今、生徒たちの中では、”今日は2時だね”とか”ちょっと今頃登校してるわよ”、”あっ、今日はお早い登校で…”などと愛子さまの登校時間について話題にする機会が増えているようなんです。なぜなら愛子さまが登校される場合、警備と一緒に物々しい雰囲気在校舎へ入られるんですが、その愛子さまのお姿が、教室の窓から見えるため、多くの生徒が愛子さまの登校時間を知ることになるからなんです。通常の始業前に登校されれば、警備が居ても全然目立たないんですけどね…」（前出・学習院関係者）

>そんな愛子さまの登校の様子を教室から眺めていた一部の生徒たちは、当然の疑問を抱くようになっていく。そして、ついに彼女たちは立ち上がり、こんな行動を起こした。「当然のように遅刻が繰り返されていく愛子さまの不自然な状況に、生徒たちが疑念を強く抱くようになったんです。それで、中等科の上級生の有志数名が団結し、最近になって自分のクラスの主管（担任教師）に、”私たちは遅刻しないように、まじめに登校しているのに、なぜ愛子さまだけが自由な時間に登校しても許されるのでしょうか？”と説明を求めたそうです。＝略＝」（前出・学習院関係者）（記事引用終）

この「学習院関係者」の言葉が虚偽であり、記事全体が編集部の捏造であることは、以下の事実により、明らかです。

学習院中等科・高等科とも全て、教室の窓は中庭に面しています。愛子さまや生徒さんたちが登校に使われる門や乗降口がある北側とは真逆にあり、北門から入っても正門から入っても、教室の窓から「登校の様子」は見えません（下図参照）。愛子さまがもし万が一、遅刻して登校されたとしても、教室にいる生徒の目に入り、気が散って困るという事態になることはありません。

戸山キャンパス



女子中・高等科			
9 女子中・高等科B館	10 女子中・高等科C館	11 女子中・高等科F館	12 女子中・高等科図書館
13 女子中・高等科第1体育館	14 女子中・高等科第2体育館	15 女子中・高等科プール (屋内)	16 女子中・高等科本館
17 女子中・高等科部室棟			

▲ 「戸山キャンパス」の地図ページ

<http://www.gakushuin.ac.jp/toyama.html>

「学習院関係者」が学習院の校舎事情を知らないわけがありませんから、この「学習院関係者」は存在自体がウソということになります。『女性セブン』編集部は、架空の人物に嘘を語らせているわけです。その嘘は、編集部が脳内ででっちあげたもの、に他なりません。いったい何のために、『女性セブン』編集部は、このような捏造までして愛子さまをバッシングする必要があるのでしょうか。その背景を考えると戦慄を禁じ得ません。

<問題点その2>人権侵害、児童虐待であること

『女性セブン』『ポスト』の記事は、ユニセフが掲げる「子どもの権利条約」(1994年に日本も批准)に定められた、子どもの「守られる権利」(子どもたちは、あらゆる種類の差別や虐待、搾取から守られなければなりません)に反し、また「育

つ権利」(子どもたちは教育を受ける権利を持っています。また、休んだり遊んだりすること、様々な情報を得、自分の考えや信じる事が守られることも、自分らしく成長するためにとっても重要です)を侵しています。「すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない」とする、わが国の児童福祉法にも反しています。

週に1,2度の遅刻や欠席は、まだ心身が不安定な思春期の少女にとって、普通でありえることです。体調を整えるためにも、時に休むことは、子どもにとって当然の育つ権利です。にもかかわらず、学校の門に張り付いた記者に毎日登校時間をチェックされ、少しでも遅刻や欠席があれば直ちに記事にされ、「不登校」「わがまま」と叩く気満々で待ち構えている関係者や評論家、(前項で指摘したように、実際には存在しない、御社の記事内にものみ存在する)上級生や保護者などに、手前勝手な論理でバッシングされ、それが新聞広告や電車の中吊り広告になって流布されるのです。

週刊誌に書かれているのだから、新聞の下に大きな文字で書かれていたのだからと、そのまま鵜呑みにして、蔭で悪意を抱く人、直接余計なことを言う人も出ることでしょう。それらの悪意は、たった13歳の少女にとってどれほど大きな恐怖でしょうか。

『女性セブン』はじめ一連のマスコミ報道は、多少の不調はありながら普通に真面目に登校を続けている愛子さまをストーカー取材によって追い詰め、バッシング記事でダメージを与え、あわよくば本当の不登校に追い込もうという意図さえ感じられるものです。同じ疑問と憤りをおぼえた方々の抗議のコメントが、多数寄せられています。

【参照：抗議コメント「報道の自由? いいえ「児童虐待」です。」】

<問題点その3>性差別に基づくバッシングであること

同じ皇族であっても、悠仁さまやその姉である眞子さま、佳子さまはストーカー取材の対象とはなっていません。なぜ、愛子さまだけがターゲットにされ、執拗なバッシングを受けるのでしょうか? 愛子さまにバッシングされる理由があるからだという主張は、まったく的を外していません。

「不登校」ということひとつとっても、佳子さまは学習院大学に入学後1年半にわたって登校せず、必修単位さえも落としておられますが、なんら批判の対象

とはならず、逆に称賛記事が書かれています。悠仁さまはお茶の水女子大学付属小学校に月に1回程度しか登校していない、という噂が根強くありますが、その実態を取材したメディアはありません。

このあまりに露骨な偏向報道の理由は、どこにあるのでしょうか？ 皇位継承が男子に限られている現在の皇室において、男子を重んじ、女子を軽んじる風潮が根強くあり、そのために皇位継承第3位の男子（悠仁さま）とその姉（眞子さま、佳子さま）はあらゆる醜聞から庇われ、東宮家の長子でありながら女子である愛子さまは少しの隙も許されず、針小棒大にバッシングの餌食とされていると考えざるを得ません。

皇室における偏向報道を検証するなかで、この見方を補強する材料は多数にのぼり（注2）、多くの人気づくところとなっています。当準備室に寄せられたコメントには、愛子さまをターゲットにバッシングを続ける御社は、「マララさんを襲撃したイスラム過激派と変わらない」という見方さえ出ています。残念ながら的外れとはいえないと思います。

【参照：抗議コメント「バッシングの根本には、世界に恥ずべき「性差別」があります。」】

(注1) 当該記事の検証ページ

■佳子さま「退学とズル合格」隠しのために愛子さまを叩く『女性セブン』の大嘘
<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/7fba5eb7ee9d25051cd6096fb3311945>

(注2) 皇位継承3位の親王とその姉を醜聞から庇い、愛子さまを叩く記事の検証

■佳子さまのICUズル合格を揃って祝福、不正の検証や批判はゼロ

<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/76ecb58c2f72b011fec329a264d1b89>

■佳子さま中退で、雑誌は一斉に学習院バッシング。雅子さまのせいにする女性誌も。

<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/fb3798e0c08f45184a16d79c381cf834>

■なぜ許される？秋篠宮家の凄すぎる特権（4:佳子さまの退学とAO入試について）

<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/1fa4ce49f6aa815e0d2ae9a2cc5f6cf4>

■皇室の性差別報道ー愛子さまを執拗にストーカー、悠仁さま不登校は隠蔽

<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/a000e55726b5d10e7fe6e0b4edb6c44e>

【2】当準備室に寄せられた抗議コメントの紹介

当準備室の検証ページ（注1）に寄稿された、当該記事への抗議コメントを紹介します。長文であり、また多数にのぼるため、一部要約・編集をしています。

小学館の皆さま、社長さまに申し上げます。

●小学館の皆さま（昔の読者）2014-12-14 19:22:37

小学館と言えば、昔から学年雑誌を出していましたね。幼稚園の頃から親が定期購読してくれました。あまり娯楽のない田舎育ちの私が、幼稚園から帰って本屋の薄緑の紙に包まれた「ようちえん」が届いていた時、どれほど胸を躍らせたでしょう。おかげで入学前に字もすらすら読めるようになり、大人になった今なお活字中毒人間を自任しています。編集の方たちも子どもたちの幸せを願って、真面目に本作りされていたと信じたいです。それが、今の『女性セブン』『週刊ポスト』の目に余る敬宮さま叩きはどうしたことでしょう。守秘義務のある方の情報なので詳しくは書けませんが、敬宮さまは全く問題のない、どころか非常に優秀なお子さま。一方であちらは……だそうです。敬宮さまも中学生。新聞もお読みになるでしょう。そのとき、その下にご自分や大好きなお母様を根も葉もないことで叩く大きな見出しがあったら…。どんなに傷つかれているかと思うと切ないです。

つまるどころ、雅子妃が人倫を犯してまで男児を産まなかったことに尽きるのですね。愛子さまが女兒であることが罪なのですね。ご自分が女兒である故にお母様が叩かれている、その思春期の少女の気持ちを考えたことがありますか。日本人口の半分に対する侮辱とも言えます。大出版社としてのプライドと良心はどこへやられたのでしょうか。小学館は子どもの幸せを願って創設された会社ではないのですか。ぜひ、あちらの男の子の出席状況、成績、文化祭の作品を本当に自分だけで作られているのか、なぜ何一つお稽古事を始めないのかなどなど、つまびらかにしてください。今の法律のままなら、将来の天皇なのですから。

●小学館社長さま（私も問いたい）2014-12-15 08:51:54

愛子さまは筆を持って習字されるところも、漢字の書き取りをされるところも動画になりました。学校内だけで書かれた綺麗な字の作文も、すてきな工作も発表され、何百人もの観客のいる運動会も演奏会も中継されました。きちんと年齢に応じた発達をされており、一貫した個性が出ていて、嘘いつわりがないとわかります。

一方、悠仁さまはどうでしょう。自ら作ったと公開された見事な切り絵は天才級。とてもあの年齢で作れるものではなく、マスコミもさすがにあの切り絵を取り上げて絶賛することはできませんでしたね。悠仁さまの学校生活について聞かれた紀子妃は、お茶の水女子大付属小のやり方を説明するばかりで、「悠仁さまは今、何をしているか」については言葉を濁すばかり。お誕生日の近況動画は、意味もなく風船や松ぼっくりを持っている姿だけなのに、「悠仁さま作」として公開される工作にはラテン語や難しい漢字が使われ、本人が書いたかのように紹介されます。字を書くシーンは一度も公開されないのに。要するに、信用できないものばかりです。

今、幼いころの愛子さまを見ると、本当にぷくぷくの健康的で利発そうなお子さん。なのに、そのときすでに、「自閉症ではないか」と一斉にバッシングが始まっていたのです。この頃からマスコミを巻き込んで、ある動きが始まったとしか思えません。愛子さまはいずれ和歌も上手に詠まれ、綺麗な筆文字でしたためられるでしょう。語学も達者で、外国の賓客をもてなされるでしょう。スポーツもお得意で、苦手だった遠泳もクリアされました。未来の皇族として、安心して見ていられるのです。このままでは必ず「愛子さまを女帝に」の声が再燃します。それを何とか潰しておきたいという力があるのでしょうか。それは誰でしょうか。なぜ、マスコミはそれに逆らえないのでしょうか。昔からありもしないスキヤンダルで売っている『週刊新潮』『週刊文春』なら、それが体質だと半分諦めます。しかし、子どもの本を中心に出版している小学館が、この両誌にもまして酷い子ども叩き記事を書き続けている理由、はっきりとご説明いただければと思います。

●小学館で働く方々に聞きたい (speranza)2014-12-15 18:14:30

小学館は子ども向けの本を発行しているだけではありません。総合学習教室「小学館アカデミー」として幼児から中学生までの学習教室と大人向けの英会話教室なども運営しています。一方では子どもを守り育てながら、一方では13歳の少女に対し理不尽なバッシングを続けているのです。

『女性セブン』には、愛子さまだけが特別扱いされている、秋篠宮家のお子様たちには特別扱いはなかった、と書かれました。しかし、それは嘘。一例ですが、一人だけ制服のスカートを短くしていた佳子さまを、教師は叱らなかったそうです。週刊文春はこのことを「オシャレ番長」などと持ち上げていました。他にも、佳子さまは大学に入ってすぐ登校しなくなった、悠仁さまは学校で孤立し不登校になったこと等が記事になりましたが、いずれも擁護記事です。

悠仁さまの不登校については、2014年5月に女性セブンに掲載されました。紀子さまが2度にわたって保護者に虐めを訴えたということで、記事は悠仁さまを擁護する内容です。しかし、皇族が虐めを表立って訴え、保護者やクラスメイト

を非難するのはいかがなものでしょうか。愛子さまが虐めにあったときは、じつとお一人で耐えておられたのです。そして体調不良のため学校を休んだとき「不登校！」と週刊誌に書き立てられたのです。実際は、不登校の定義には合わないものだったのに。

小学館だけでなくほとんどの週刊誌が、愛子さまをバッシングするために事実をねじ曲げ、不登校や不規則登校などといって叩いています。そして、本当の不登校（佳子さまは1年半にわたり学習院大に登校せず、悠仁さまは月に1回程度の登校という噂）については曖昧にして擁護あるいは賛美しているのです。何と異常な状況でしょうか。小学館で働く方々は、このようなバッシングをしながら子どもたちに何を伝えようとしているのか、一度聞いてみたいです。

●小学館への抗議 (さち)2014-12-16 08:51:18

愛子さまが幼い頃からマスコミによる枝葉末節な揚げ足取りと嘘・捏造も含む様々なバッシングを受けてこられたことに、腸の煮えたぎる思いでいます。この21世紀の現代の日本で、皇室に生まれたというだけで、愛子さまの人権はないのでしょうか？ 否、そのようなはずがありません。現にマスコミ各社は、秋篠宮家のお子さまたちを守る「罰則付き報道規制」の要請を容易く承諾し実行しているではありませんか。ならば愛子さまにも配慮があってしかるべきで、また配慮できるはずです。なのに、捏造してまで、子どもである愛子さまを叩くとは。マスコミは人権無視で子どもを叩き、子どもの健やかな成長を阻害しようとする人たちの巣窟、小学館は企業倫理もないコンプライアンスとは無縁の会社、ということになってしまいます。

子ども向けの雑誌・本・教材を作り出しながら、片や子どもを捏造で叩く仕事をしていて、親や兄弟・姉妹、配偶者、そして何より我が子に孫に、自分の仕事と職場を誇れますか？ 小学館には会社設立当時の社の志を、今こそ思い返していただきたいと切に望みます

●知の誇りを捨てた小学館 (Dianthus)2014-12-16 08:53:44

出版社とは知を扱う仕事であり、知（知識）は分量や内容だけの問題ではない、それを扱う姿勢の問題である。誠実さ、謙虚さに遠い「知」の、何と恐ろしく腐り切ったことだろう。13歳の少女を、捏造してまで、毛を吹き疵を作るごとく叩き続けるその姿勢の醜さに気づかない出版社に、知に関わる仕事を扱う資格はない。たとえ「不登校」だとしても、そうメディアが書き立てて未成年を追い回すこと自体が卑劣である。しかも、実際は客観的に見て「不登校」とはいえない。なのに「不規則登校」「ランダム登校」と言葉を換えて誤魔化しつつ、叩き騒ぎ続ける。この先は、ファジー登校、ゆらぎ登校、カオス登校などといって叩くのだ

ろうか？ そこにあるのは、13歳の少女を傷つけ苦しめて排除しようとする明確な意志、悪意である。知を標榜する職にあるものがすることだろうか。嘘しか書かないと開き直っている東スポだって、13歳の少女を執拗にバッシングしたりしない。それだけの矜持はある。

●**忘れ去られた理念** (メイ)2014-12-16 12:46:39

小学館の会社案内を見てみると、最初のページに、このような会社理念が記載されています。「出版物が世の中全ての悪いことを無くすことはできないが、人の心に良い方向を生み出す、何らかの小さな種子をまくことはできる。人生の中で大きく実となり、花開く種子をまくという仕事が出版であり、これが当社の理念です。」——ポストやセブンといった週刊誌は、この理念とは全く逆の方向性なのですね。抗議することができない方々を捏造記事で貶める、そんな週刊誌に存在理由があるのでしょうか。ネットの時代に紙資源の無駄でしかありません。

●**苦しいのは判ります** (パピルス)2014-12-16 14:11:40

今、出版社はどこも苦しいのでしょうか。電車の中でも週刊誌を読んでいる人をほとんど見ません。電子書籍を読んでいるのかもしれませんが、ほとんどの人がスマホをいじっている。もし、どこかからお金が出て、「こんな記事を書いてくれ」と言われたら、盗泉の水でも飲むかもしれません。でもそんな時代でも、紙の本を読む人がいる。単にスマホが使えないからという人もいるけど、使えても紙の本が好き、あの感触が好き、ぱらっと開いて適当なところから読むのが好き、電池が切れることのないのがよい、いろいろな理由からです。そして、誰でも書き込めて悪意と捏造に満ちたネットと違い、出版社社員というプロが作り、校閲がなされ、会社が社名をかけて世に出している。そんなに酷いことは書かれていないはず、という信頼感があるからです。それがどうでしょう。今やいわゆるアンチサイトと呼ばれる酷いサイトと同じレベルの記事。今でも紙の本を買い支えているのは本当の本好き、活字好きです。そんな人を裏切っているのです。皆さんは出版社に入社した時の誇りや良心はどこに捨てられたのですか。

●**他社へ切り替えます** (一消費者)2014-12-16 15:59:42

初めてコメントします。皇太子ご一家についての報道はずっとひどいと思ってきました。『女性セブン』は2013年の記事で、愛子さまが4万円のバッグを持つのは贅沢か、と緊急世論調査をしてバッシングしました。その記事では、美智子さまは国内のものしか身に着けられないのに、雅子さまと愛子さまは外国製品ばかり、とも書かれていましたが、昭和の美智子さまを知っている年配の方々は、「嘘ばかり」と嗤っていました。どうして、こんな見え透いた嘘をついてまで、雅

子さまと愛子さまをバッシングするのでしょうか。このところの愛子さまバッシングは学校内でのことなので、他の生徒さんと学校の学習環境も侵しています。

あまりに腹が立つので、小学館の本はこれから買うまいと決めました。皇族とはいえ、13歳の中学生の女の子の学校や学習環境のことをバッシングして、より学校へ行き辛いように追い込んでいくような会社が出す、学習書籍など信用できません。子どものために、小学館の日本の歴史（マンガ）を少しずつ揃えていたので残念な気がしたのですが、他社からも同様な本が出ていて、手にとってみると良いものだったので、小学館のシリーズから替えることにしました。

愛子さまの学校生活についてバッシングしているのは小学館だけではありません。女性セブンほど悪質ではないですが、『週刊女性』は二学期の遅刻について書きたて、以後ずっとストーカーのように登下校の時間を書いています。「愛子さまがSPを引き連れて登校されるのを、上級生が物々しくて迷惑がっている」という記事がありましたが、母主婦の立場でいえば、校門前に張り付いている雑誌記者の方がよほど迷惑な存在だと思います。もともと主婦と生活社の本なんて買わないので、ここには不買抗議できないと思っていたら、母がこの出版社から出ている家計簿を使っているのを、他のものに変えるよう勧めました。これも他社と比べると、他社のものも良かったので、変えてくれたそうです。こんなチマチマしたことしかできなくて悔しいですが、チマチマと不買している人間がいることを知らせたくて書きました。

歴史シリーズも家計簿も長年のくせで同じ出版社のものを選びがちですが、皇太子ご一家に向けられる悪質なバッシングから出版社の体質を疑い、他社のものと比べてみると、違う良いものに出会えました。誰にでも分かる嘘記事や子どもの学校生活を脅かす記事で、普通の人に呆れられ、購買者を減らし続ければ良いと思います。

●小学館に抗議のメール (塩谷暁子)2014-12-17 14:13:39

初めて投稿させていただきます。先日小学館のHPの「お問い合わせ」から抗議のメールを致しました。その返事が先ほど来たのですが、その内容をコピペさせていただきます。逃げて何もしない気満々の様子です。

(引用開始) 小学館カスタマーサポート担当の本坊と申します。お問い合わせいただき、ありがとうございます。ご連絡いただきましたのは、「女性セブン」の見出しであるかと存じますが、今回お寄せいただきましたご意見については、こちらより担当部署へ申し伝えさせていただきますので、ご容赦くださいませ。

●良心ある編集者もいると信じたい(老人)2014-12-18 15:34:41

報道機関、出版社に勤務している人たちは、さぞかし「勉強のよくできる優秀

な子ども」だったであろう。それを自負している彼らは、ハーバード出身の女性外交官が現れた時、「ふん、優秀だと？」と、面白くなく思ったかもしれない。そこに財界、スポンサーラインから指示が来て、上から命令が下れば、捏造記事を書くのも、皇太子ご一家を攻撃するのも、「なーに、月給の一部。上から言われたんだし」と、割り切りやすいかもしれない。と、こちらも悪意を持って想像してしまう。そして攻撃すればするほど、ある筋からは援助援護を得られ、会社の安定にもつながるのである。昔の文芸春秋社と違って、もう右翼から銃弾が撃ち込まれることもない。それほど権力がついている。――ここまでは憶測であるが、中一の少女が誌面で虐待され続けているのは事実である。良心ある編集者もいて、この事態に反対している、ということ信じたい。60 数年前、子どもにとってはここしか知らなかった「天下の小学館」である。情けない。おいぼれ老人の私はもう憤死しそうである。

●金のために魂を売った小学館 (九重)2014-12-20 23:37:43

私は一庶民で皇室の方々の実情に明るいわけではなく、敬宮さまが実際どのような学校生活を送っていらっしゃるのか、よく分かりません。しかし、13 歳の中学 1 年生について、登校状況がどうのこうのと週刊誌であげつらう必要が、どこにあるのでしょうか。それより、多額の歳費を国から受け取っていながらサボっている政治家、観光に来たのかと海外の訪問国で言われてしまう某宮家、まじめに勉強している多くの受験生をあざ笑うかのように裏口入学をして恥じない某宮家のお子様たち等々、批判の対象はいくらもあるはず。常識ある人間ならば、誰しもおかしいと感じる敬宮さま叩きは、プライドのない週刊誌が、お金に転んでやっていることとしか思えません。

以前、某歌舞伎役者が、自分についてひどい悪口を週刊誌にしつこく書かれたので背景を調べたら、ライバル関係の役者が金を出して書かせたとわかったと、新聞のエッセイに書いていました。民間人なら、しかも大人なら、反撃もできます。それもできないお立場の、しかも未成年のお方を一方的に攻撃するのは、悪魔の所業としか思えません。小学館は、子ども向けに良い本を出したこともあるけれど、もう出版社としては終わりではないですか。魂を売ったのですから。子どもは成人したので、孫の代には絶対小学館の本は買わせないようにします。

●創設の理念を失った出版社(IJ)2014-12-22 00:37:50

先日、職場から書庫の図書を整理するから引き取りたい人がいたら取りに来いとの連絡を受け、書物を捨てようとする職場に憤慨しながら、段ボール箱 4 箱分の書籍を引き取ってきました。書庫の一番目立つ場所に『日本国語大辞典』全巻がありましたが、引き取る気にはなりません。先達が血の滲むような努力

をされ、研鑽を重ねて編まれた大切な辞典だということは重々承知しておりますが、御社の姿勢を見て、今後御社、御社のグループ会社関係の書籍は自分の書庫には置きたくないと強く思ったからです。創設の理念を失った出版社は、ただのプロパガンダ生産マシンと化して行ってしまいます。今一度、何のために出版事業に取り組んだのかを思い起こしていただきたい。子を持つ親として、強くそう願います。

●反省は決してしない小学館 (akireta)2014-12-25 09:01:49

皆さまの文章を深く同意しながら読ませていただきつつ、小学館の人の目にも触れているのではないかと期待しました。雑誌を出す人は、読者がどのような反応をしているか凄く気にしますから。プロとして記事を書く人が少しは忸怩たる思いになるのではないかと、13歳の少女に向けたペンの暴力を反省するのではないかと思いましたが、今週号の見出し(愛子さま進級危機と同級生「LINEの憂うつ」)を見て、全く無駄な期待だったと思い知らされました。もう、魂を悪魔に売っちゃっているんですね。この程度の反論は織り込み済みでしょう。この抗議活動も、塩谷様のおっしゃるように「ご意見伺いました。感想有難うございます」で、右から左でしょう。我々にできることは不買運動くらいですが、もう週刊誌なんて美容院のサービスで読めるものも手に取る気がしません。今上陛下ご自身が、2年も学費(税金です)を無駄にして裏口入学する孫だけを褒め称え、敬宮さまについては無視しているのです。マスゴミは「お墨付き」を得た思いなのでしょう。

●初めに感じた気持ち悪さ(渡辺)2014-12-26 01:39:23

『女性セブン』ばかりでなく『ポスト』まで愛子さまをバッシングしていますが、これは小学館が東宮家を貶める勢力に加担しているのか、愛子さまが優秀で天皇としての資質を十分備えているのを危惧する団体から大金を貰っているのかと思えます。最近、他誌で「(皇位継承について)愛子さまか悠仁さまか」という議論をするべき時期に来ているという記事が出ました。セブンとポストは根拠薄弱な想像と憶測を書き連ね、愛子さまを「休んでばかりの不真面目な中学生」と国民に印象付け、不適格としたいのですか？ 皇位継承は良識を持って公正に議論しなければいけない問題です。おかしい利益誘導記事など絶対に止めて頂きたい。そういうことを頼む団体は、絶対に危ない人たちの集まりだと思います。

それと、あなた方が虐めているのは13歳の少女ですよ、恥ずかしくないですか？ まともな編集者とは思えません。少し頭を冷やし、自分たちのしていることをお考え下さい。お金のためなら何をやっても平気なのですか？ あなた方の書いた記事を見たとき、初めに気持ち悪さを感じました。毎週、同じことの繰り返しか新たな妄想を加えての新味のない記事。多分、こうした怒りの抗議も暖簾に腕押

しになると思いますが、黙っているのは良くないと思い、書かせて頂きました。

●**公共の場で繰り広げられてきた異常性** (さち)2014-12-26 13:21:49

上記の渡辺様の文章（あなた方の書いた記事を見たとき、初めに気持ち悪さを感じました。）を読んで、今まで言い表せなかったものに気付かせて頂きました。社会生活を円滑に送っている知性・感性・品性に問題のない人間であれば、マスコミが長年行ってきた子どもに対するバッシングは、正に異常者そのものです。家庭の中で繰り広げられる、その家庭独自の異常性は外に露見することなく内に潜伏しがちですが、私たち国民は好むと好まざるにかかわらず、マスコミから『公共の場で』長年この異常性を見せ付けられてきたのです。未成年の子どもに対して長期間にわたり、ストーカーかと思うような記事を書き、バッシングを行い、かつバッシングの見出しが躍る広告が載る場所は国民生活の場にも入り込んでいるのですから。嫌ならば見なければいいという言い訳はもはや通用しないと思います。未成年の子どもを叩き続ける異常者を、異常な会社を、気持ち悪いと感じるのは、至極当然のことと思います。

●**他の記事も嘘ということですね** (匿名)2014-12-26 21:38:09

学習院に行っている人から、これらの記事は全くの嘘であると聞きました。あまりにも事実とかけ離れ過ぎて、ご本人も周囲も逆に気にされていないそうです。それでも、学校側がもっと毅然と抗議して欲しいものですが。お金か脅しか、何の勢力によってこのような記事が書かれているか知りませんが、つまり週刊誌の記事はほとんどが嘘っぱちと思ってよろしいのですね。「週刊誌の記事を真面目に受け取っているのか。最初から事実を伝えるつもりなんてない」と舌を出しているのでしょうか。小学館も落ちたものです。無学館に改名されたらどうですか。

●**心がすさみます** (田舎婆)2014-12-27 01:23:17

ご自分たちが流す愛子さまバッシング記事が、国民にどのような心理的影響をもたらすか考えたことがあるのでしょうか。あることないことを捏造し、自分の気に入らない人間は叩きのめし抹消したいという、血に飢えた殺伐とした邪悪なものを押し付けられ、多くの国民は驚愕しています。毒を流し続けることで、国民が徐々に毒されてゆくのを待っているとしか思えません。皇室のお姿を伝える雑誌記事が、国民に、寛大さと明るさ、希望を生じさせなくて、どうするのでしょうか。国民の心がいっそう荒んでゆくのを願っているのでしょうか。愛子さまを血祭りにする記事を載せ、何の良心もとがめないジャーナリストの矜持を失った野獣性と、その背後にある野望に、恐ろしいものを感じます。

●**小学館の理念** (あぶらちゃん)2014-12-29 14:13:01

小学館の会社案内のページを開くと、こう書いてあります。

「出版物が世の中全ての悪いことを無くすことはできないが、人の心に良い方向を生み出す、何らかの小さな種子をまくことはできる。人生の中で大きく実となり、花開く種子をまくという仕事が出版であり、これが当社の理念です。」

毎週のように13歳の少女を叩き続けることは小学館の理念に合致しているのでしょうか。雅子さまのお誕生日の病気に関する部分を「コピペ」と批判した『女性セブン』が、2014年10月2日号のバッシング記事をコピペしては敬宮さま叩きを続けるのはなぜでしょうか。今日、秋篠宮家の佳子さまの成年会見で、週刊誌をチェックされていることが明らかになりました。美智子皇后が新聞掲載の週刊誌の見出しをチェックされていることも有名です。ああ、やっぱり。——もしも私の想像通りなら、会社の理念に反する週刊誌は廃刊するか、会社そのものを閉じたほうがいいのではないのでしょうか。反論もできない立場のわずか13歳の少女を叩いて喜ぶような国民はいませんよ。いるとしたら、その人は鬼畜です。

●**見出しを見るだけで気分が悪くなる**(どうしても言いたい人)2014-12-30 17:52:03

反論のできない中学生の女の子を誹謗中傷するのはもうやめてください。見出しを見るだけで気分が悪くなるほど不快です。一消費者として不買をするくらいしかできないのが歯がゆいですが、御社の記事についてそれくらい不快に思っている者がいることを、ぜひ自覚していただきたいです。ほかに記事にできることはいくらでもあるでしょうに、なぜ愛子さまばかりを標的にするのでしょうか。いったい、どこからお金をもらっているのですか？ 常々不思議でなりません。

●**一言だけ言わせて** (Unknown)2014-12-30 21:15:35

小学館は何を言っても止めないでしょうから言うだけ無駄と思いつつ、それでもこの理不尽さ、弱い者いじめを毎週毎週見せつけられる不快さに我慢できないので、一言だけ言わせて下さい。反論できない未成年の女の子を、よってたかって集団リンチ、死ぬまで叩くのか。死んだら祝杯を上げるのか。その子の母親に「自分たちは悪くない。お前の自業自得だ、ざまあみろ」と言うのか。そういうことを平然とできる自分が怖くはないのか。以上、失礼いたしました。

●**小学館は児童虐待会社** (Unknown)2014-12-30 23:26:15

未成年の愛子さまを、毎週毎週ずっと悪く書き続ける小学館は、児童虐待会社です。小学館に勤務している全ての人に聞きたい。自分の子どもが愛子さまのように書かれても平気なのですか？

「事実を曲げた記事」を書かないでください。

●愛子さまの通学警備は過剰ではない (赤レンガ校舎)2014-12-05 08:55:25

『女性セブン』は愛子さま登校時の警備を「物々しい」と警備過剰のように書いています。しかし、ガッチリした警備は当たり前のこと、むしろ昔に比べ穏やかになっていると思います。かつて、皇太子殿下が男子部（男子中等科・高等科）におられた頃、校内には皇宮警察官が何人も配備されていて、やんちゃな生徒は皇宮警察官を驚かして面白がっていたようです。これは武者小路氏の『メイド・イン・学習院』（学習院での学生生活を書いた本）にも出てきますし、最近OBに聞いた話では、強烈な大きな物音を立てたら、警察官が実弾を発射したそうです。学校内で拳銃が発射される光景はちょっと珍しいですよ。実弾を装備した警官が学内にいて、かつ、浩宮さまの通学は白バイに誘導された車だったそうですが、生徒達も保護者も、それが物々しいとか特別扱いとか言いませんでした。

無差別殺人とか、池田小事件とかが起きた後の、より危険になった現代でも、愛子さまはバンに乗って通学され、SPも数名。この穏やかな状況に週刊誌が文句をつけるのは、その背後に「敬宮愛子内親王が、何かテロにでも遭うといいな」と思っている勢力がいるのでしょうか。その勢力が宮内庁に通じていると思うと、恐ろしくて仕方がありません。皇位継承第三位の悠仁さまの小学校生活は、実弾装備のSPが警護しているはず。学習院なら、そうしたことを折り込み済みの家庭の子が入学してきて、面白がってしまうような余裕もあるわけですが、悠仁さまが通われるお茶の水女子大付属小は、そうはいかないはず。一般庶民の中で勉強が好きな子たちが行く場所ですから、それこそ物々しい警備に、さぞや窮屈な思いをしているのではないのでしょうか。（注2：悠仁さまの過剰警備 参照）

●過剰警備への戸惑いはお茶の水のほうでは？ (OG)2014-12-16 16:38:35

学習院の生徒がSPを怖がったりうるさがったりすることはありません。見慣れていて、日常光景の一部です。それを知ったうえで学習院に入っているお子さんたちですから。むしろ、池田小事件などを考えれば、しっかりした警備は安心材料です。皇族が入ってくるなど予想もしなかったのに、突然入ってきて運動会の人数規制、撮影規制などを強いられているお茶の水女子大付属小のお子さんたちや保護者の方が、よほど戸惑われているかと思います。

●制服着用でないのは欠席の証拠？(あぶらちゃん)2014-12-11 00:34:14

週刊ポストは、こんなふうに書いています。「半蔵門の沿道から『敬宮さま、お誕生日おめでとうございます』とお声がけされると、愛子さまはニコリと微笑

んでお手振りをされ、元気そうなお様子でした。でも気になるのは愛子さまがその日に学習院女子中等科を欠席されていたことです。だからなのか、慣例的には制服を着用するはずが私服での訪問でした」（皇室担当記者）

あの日、敬宮さまはとても晴れやかなお顔でした。初めてお一人で参内されるので緊張されるかなと思っていましたが、堂々たるものでした。それが気に入らないと文句を言う。そして、書かなくてもいいことを書いて墓穴を掘る。「だからなのか、慣例的には制服を着用するはずが私服での訪問でした」——去年も今年も、悠仁親王はブレザーにネクタイで、お茶の水女子大附属小の制服ではありませんでした。参拝時もブレザーです。「学校に行っていない証拠」なのでしょうか。

また、こんなことも書いています。「愛子さまは2学期に入ってから、午前中の授業を欠席し、午後からの登校が目立つようになりました。とくに金曜日の遅刻が多いのは、午前中に苦手な理数系の科目があるからだともいわれています。このままでは（不登校が続いた）初等科時代に逆戻りしてしまうのではと心配です」（学習院関係者）——初等科時代の通学困難は、「乱暴な男の子」による虐めのせいです。「初等科時代に逆戻り」とは、中等科でも虐めが起きているとでも言うのでしょうか。繰り返される「不規則登校」報道の裏には、初等科時代に学校に行けなかった時期があるのは、虐めのせいではなく敬宮さまの資質によるものにしたいたいという意図がミエミエです。

●登下校を見張り記事化することの危険 (auxilia)2014-12-16 14:42:05

愛子さまは初等科時代に不登校と書き立てられました。不登校ではなく数日欠席されただけで、それは酷い虐めがあったからです。でも、愛子さまは母親と一緒に登校することで、虐め被害を乗り越えて登校できるようになったのです。これは、責められるどころか褒められるべきことです。一般市民でも、保健室登校をしたり、親が学校と緊密に連絡を取り合ったりして、虐めに負けないように頑張っています。愛子さまと雅子さまは、虐め問題と向き合う親子にとって励ましとなるお手本なのに、良いお話として取り上げられないのが不思議です。

中等科に進学された愛子さまは今、またしても遅刻しているのだと書かれています。本当に遅刻なのでしょうか。愛子さまは未成年ですが、天皇家ただお一人の内親王なのです。いつも定刻通り、いつも同じコースで登下校されるとは考えられません。いつも定刻通り、いつも同じコースで登下校しているとすれば、警備が無能すぎるとしか言いようがありません。現金輸送車とてコースも時間も変更しますし、SPは毎日バッジの色を変えますよ。してみると、毎日愛子さまの登下校を見張ってその時間や場所を記事にして公開するような取材は、非常に危険な、犯罪的なものといえるのではないのでしょうか。

報道の自由？ いいえ「児童虐待」です。

●「子どもの権利」ふみにじる小学館 (IJ)2014-12-22 00:37:50

ユニセフが掲げる子どもの権利条約は、以下の4項目を柱としています。

1. 生きる権利：子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、健やかに成長する権利を持っています。

2. 守られる権利：子どもたちは、あらゆる種類の差別や虐待、搾取から守られなければなりません。紛争下の子ども、障害をもつ子ども、少数民族の子どもなどは特別に守られる権利を持っています。

3. 育つ権利：子どもたちは教育を受ける権利を持っています。また、休んだり遊んだりすること、様々な情報を得、自分の考えや信じる事が守られることも、自分らしく成長するためにとっても重要です。

4. 参加する権利：子どもたちは、自分に関係のある事柄について自由に意見を表したり、集まってグループを作ったり、活動することができます。そのときには、家族や地域社会の一員としてルールを守って行動する義務があります。

・ユニセフ「子どもの権利」より抜粋

http://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html

また、児童福祉法の第1章総則の第1条にも「すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない。すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない。」と謳われています。児童を対象にした出版社傘下の週刊誌が、子どもの権利を踏みにじり、ないがしろにしているという事実には愕然とするとともに、出版社としての矜持はいったいどこに行ってしまったのかと、強く問いかけたのです。自ら反論のできない子どもをペンの暴力、ネットの暴言で傷つけることで得た売り上げ、アクセス数、報酬に、いったいどのような価値があるのでしょうか。メディアとしてあるべき姿を忘れた小学館傘下の週刊誌には、ほとんど愛想が尽きました。

●法的手段はないのか (雨模様)2014-12-04 10:36:09

不登校一步手前で踏ん張っている中1の下級生を、「なぜ叱らない」と上級生が団結して抗議するという見出しは、二重の意味で虐めではないか。不規則登校の生徒に学校が指導的配慮をするのに対し、ここまで冷たい生徒というのは公立学校でさえも珍しいのではないか。この抗議も、虐めの一つに見える。もう一点、学校内部はある種の自治が認められ、施設や学生の管理が認められると思うが、これを表現の自由を盾に侵すことは許されるのか。マスコミによるペンの暴力、リンチではないか。一般人なら民事提訴も辞さずと思える冷酷非情な振る舞いに

対応策はないのか。愛子さまの場合、名誉棄損で刑事告発すら可能と思える事態に、関係者も有識者も声をあげずに、見殺しにするのか。ここは法治国家なのか。

●**少なくともお子さまを叩かなかった** (昭和生まれ)2014-12-05 14:38:59

アーヤの成績がふるわなかったこと、お行儀も悪かったことは周知でした。でもマスコミは「次男坊らしいやんちゃぶり」と、微笑ましいこととして報道していました。サーヤは「美智子さまの娘なのに…」と陰で噂はしても、マスコミは決して失礼なことは書きませんでした。「皇族の悪口を書かないのは常識」と思っていました。お気の毒なのは香淳皇后さま、そして年長の宮妃の方々に、美智子妃虐めの犯人として書かれていました（どちらが悪いかは主観の問題でしょう）。しかし、敬宮さま叩きのような、年端もいかない頃から思春期の今でも、明らかに根も葉もないことで叩き続けるなんて異様なことは、昭和にはありませんでした。もうマスコミは狂っているとしか思えません。きちんと公開される学校行事、作品、お顔立ちを見ても、本当に品の良い優秀なお子様であることは一目瞭然。なぜこんなに叩かれるのか。

●**教育界から声が上がらない不思議** (ポストが赤いのも)2014-12-09 23:23:52

愛子さまバッシングの週刊誌記事は、発売翌日にはネット配信までされるという異常な様子を呈してきました。たとえ事実であっても、中学生をこれほどまでバッシングする報道は許されないと思います。『女性セブン』と同じく小学館から出ている『ポスト』は、「愛子さまの新しい趣味としてテニスが紹介されたのは、不登校問題に目を向けないための策ではないか」という憶測でバッシングしています。不登校問題はデリケートな問題で、一般生徒の場合でも学校側は細心の配慮をしますが、これを「特別扱い」とバッシングの材料にするのは、教育的見地から問題です。この点について、教育界から声が上がらないのが不思議です。

●**そもそも「不登校」ではない** (Unknown)2014-12-10 23:20:25

不登校とは、「長期間にわたり欠席している生徒」のことを指すのではないですか。愛子さまはいつ、長期間にわたって欠席されました？ 不登校、不登校と、間違った意味でこの言葉が愛子さま叩きに使われていることが大変不愉快です。最近では、「不登校」という言葉について間違った使い方をしてしていると批判されたためか、「不規則登校」などというおかしい造語を編み出しているようですね。マスゴミの異様な必死さに気持ち悪くなります。

●**反論も抗議もできないお立場** (嘘7ポスト)2014-12-13 01:38:07

泉ピン子さんが週刊誌報道の捏造に怒ったというニュースが流れました。

>泉ピン子、週刊誌報道に怒り「知らないこと書くな! お前らは敵か!」

<http://www.oricon.co.jp/news/2045831/full/>

ピン子さんの怒りの対象は、10月11日にネット配信もされた『女性セブン』の記事で、発売から2か月以上経ち、ほとぼりも冷めているのに蒸し返して抗議をするというのは、よほど腹に据えかねる、全く事実無根の内容であったためと思われます。愛子さまの学校生活についての女性セブン記事は、学習院女子中等科の校舎見取り図からも、捏造の可能性が高いとわかります。今回のピン子さんの抗議からも、女性セブンは捏造記事を書く雑誌であることがわかります。しかし、ピン子さんは自ら抗議する機会を設定することができ、その抗議は広く伝えられますが、愛子さまには抗議の機会はなく、東宮職が抗議をしても、それをマスコミが正確に伝えることもないのです。宮内庁がホームページで反論しても、その効果らしきものは一月ももたず、またバッシングが繰り返されるのが常態化しています。

●もはや「報道虐待」と言うべき (シロキジ)2014-12-14 23:11:41

ここのところの愛子さまへの各雑誌の集中攻撃は、いったい何なのでしょう？ 鵜の目鷹の目で一中学生の登校状況に張り付いて。一万歩譲って愛子さまが不規則登校とやらをなさっていると、それを調べ上げ、報道することで愛子さまに一体どういう良い影響があると言うのか？ 百害あって一理なしで、「愛子さまが心配だから記事にしている」なんて言い訳は通用しません。あなた方マスゴミの書きっぷりには、愛子さまへのひとかけらの愛情も感じられない。子どもの健全な成長を願っているなら温かく見守るのが筋でしょう。立派なご両親がきちんとついていらっしゃる愛子さまに、いったい何の心配をしているのか。大きなお世話というものです。教育の評論家でもないゴシップ雑誌が何を上から目線で説教するのか。

でも、時々そんな雑誌に引用される本物の教育評論家の意見が往々にして、「この程度の遅刻欠席なら問題ない」と言っているのには笑いますね。自分で引用した専門家の意見も編集部は理解できないのでしょうか。(雅子さまの病状についても、マスゴミどもは専門家の意見を見向きもせずして前近代的な「根性主義」を押し付けるのは本当にわけがわかりません。)最近では本物の不登校でも登校を無理強いしない、というのが主流のようですよね。なのに、なんでマスゴミどもは嘸し立て、大騒ぎするのか。

これは、もはや「報道虐待」と言っているのではないのでしょうか。子どもが虐待されているのを見かけたら、大人は通報義務があるんでしたよね。この訴えを受け止めてくれる機関は、この国には無いのでしょうか？

●週刊誌の暴挙をこのまま許してはいけない (南)2014-12-15 14:07:44

私は愛子さまのお作りになられた芸術品を見てから愛子さまのファンになったものです。なので、愛子さまをバッシングする週刊誌が多く、ネットでもあることないこと、いや、ないことばかり書かれていて、本当に悔しいです。知的障害があるとかよく言われますが、どこが？と突っ込みたい。学習院が特別扱いしているとか、違うじゃないですか。ICUの方が特別扱いじゃないですか…。皇族の一人と言えど、まだ13歳の子どもにペンの暴力なんて…。初等科の時愛子さまを虐めた生徒よりクズですね、記者たちは。あと、デヴィ夫人も許せません！週刊誌のウソを鵜呑みにして愛子さまを叩きまくって…。本当に大統領の夫人だったのか？と疑いたくなるくらい品のないことを…と思う。ああ、悔しい、悔しすぎる。私は愛子さまが成人され、ご立派にご公務をされる姿を思い描きながら、成長されるのを楽しみにしております。雑誌記事の嘘の検証を、もっと広めていて下さい。週刊誌の暴挙をこのまま許してはなりません。

●不登校でも遅刻魔でもないのに (auxilia)2014-12-16 14:42:05

愛子さまは東宮家の内親王ですが、未成年であり、まだ中学1年生の少女です。未成年に最も必要で重要なのは、勉強に励むこと、学校授業以外で得る教養を高めることではないでしょうか。そしてそれは、身分の上下に関係なく、全ての子どもにとって必要で重要なことではないでしょうか。今回のノーベル平和賞を受賞したマララさんも、子どもへの教育の重要性を説き、大人は子どもに教育を受けさせるべきだと唱えています。私は、愛子さまの遅刻が本当なのかを疑っていますが(セキュリティ上の配慮で登校時間や場所を変えている可能性もあります)、もし本当に遅刻していたとしても、それを暴き立て、悪意をもって叩き続ける理由は何なのでしょう。記事を読むかぎり、心配しているでも応援しているでもなく、ただただ悪く言っているだけです。写真雑誌などで、走って登校される愛子さまの写真がありますが、本当に遅刻魔であったり、不登校であったりする場合、走って登校するとは考えられません。走って登校するということは、遅刻してはいけない、ちゃんと学校で勉強しようという、非常に真面目な生徒であると考えるのが普通です。

小学館の記者に、他誌の記者にも、私は問いたい。あなた達は本当に事実を書いているのですか？ 本当の不登校児童が遅れないようにと走って登校すると思えますか？ なぜ、これほどまでに長きにわたり愛子さまバッシングを続けているのですか？ 愛子さまは未成年の子どもなのに、どうして悪く・悪く、書くのですか？ 愛子さまの人権を保障できないで、子どもの人権を保障できるのでしょうか。

●**報道の自由？ 虐めは明らか** (りこ)2014-12-19 23:33:22

報道内容が事実であるか否かは、私は知らない。が、娘と同じような年ごろの無防備な女の子が、このバッシングの嵐に立ち向かわなければならないとはあまりにも理不尽だし、受ける心の傷を考えると毒であるし、その事態に追い込む大人が無防備な女の子を”いじめ”ていることだけは明らかである。

●**被害者を叩くマスゴミ** (子を持つ母)2014-12-26 06:51:09

あまりに酷い！ 毎週、毎週、絶えることなく続くバッシング。なぜ敬宮さまだけが悪く書かれるのか？ まだ中学1年生ですよ！ 思い返せばイジメ被害の時から、敬宮さまだけが一方的に悪く書かれた。イジメで転校した男子児童がいるのに、学習院初等科も、マスゴミも、イジメは無いものとしてイジメ加害者を擁護して、イジメ被害者の一人であった敬宮さまを悪く書いた。小学館のみならずマスゴミは犯罪被害者を二次レ〇プするのと同じ行為を、未成年の敬宮さまに、名誉毀損で訴えられない立場の敬宮さまに、与え続けているとしか思えません。

●**一連のマスゴミ報道に感じられる恐ろしい意図** (師走の青空)2014-12-26 23:08:44

マスゴミの報道で一番怖いのは、特定の人物に対して悪意のある事実無根の記事を書き連ねることで、現実の人間社会に影響を及ぼしていく、ということです。毎週週刊誌の見出しで他愛のない、しかし悪意ある記事を何度も掲載し続けることで、本人を次第に学校に行きにくくし、そして本当に不登校にさせてゆく、これが一番恐ろしいことです。一連のマスゴミ報道には、明らかにその意図がうかがえます。今上夫妻とそれを取り巻く人々の意図なののでしょうか？ それから、嫌がらせはマスゴミ報道だけなののでしょうか？ 一般人の目に触れるものでもこれほどのことがあるのです。我々の知らないところでは、いったいどんなことが起こっているのでしょうか？ 恐ろしいことが起こらないように、ちゃんと敬宮さまを警護してほしいと願っています。

バッシングの根本には、世界に恥ずべき「性差別」があります。

●小学館はマララさん襲撃のイスラム過激派と変わらない（上手く纏められません）2014-12-16 23:07:40

ノーベル平和賞のマララさんに触れている方がいらっしゃいましたが、「男系男子」の天皇家に、皇太子殿下の第一内親王としてお生まれになったというだけで、生まれてこの方、誹謗中傷し続けている日本という社会、その社会の言論を代表するマスコミは、武力でもって己が主張を正当化せんとする、イスラム武装組織と何ら変わりはありません。本来、教育というものは、自ら考える力をつけるためのものです。その教育を標榜する小学館が、権力に阿り、天皇家ただ一人の未成年皇族であられる敬宮さまのことは、事実を捏造して、あるいは理屈の通らないバッシングを繰り返して、もう一方の宮家の三姉弟のことは、裏口入学をしようが、およそ努力というものをせず特権を振りかざして生きようが、決してそれを批判せず、不自然なまでに賞賛する。

先日、Yahoo!知恵袋に、「女の子しか産まなかったので、義母が母に謝罪を要求した」という投稿がありました。投稿自体は、いわゆる「釣り」かもしれませんが、ほとんどの意見、回答は、「義母がおかしい」というものでした。つまり、「男系男子」はもはや、国民感情から隔絶したものになっているのです。それにもかかわらず、男系男子を正当化するために、現皇室典範では継承権のない敬宮さまを誹謗中傷し、イメージを毀損しようとする企てでしょう。マスコミは、小学館は、たかが皇室報道とタカを括って、ウソ偽りを書いても構わないと思っているのかもしれませんが、しかし、そのような小さな不正が、会社とそこに勤める人々のモラルを蝕み、いつか取り返しのつかないことになるでしょう。すでに、その兆候は十分にあると思います。

●歪んだ社会と歪んだマスコミに抗議します（山歩き）2014-12-17 00:16:31

今日もまた学校が武力によって攻撃され子どもの命が奪われる事件が起こり、今年のノーベル平和賞を史上最年少で受賞したマララさんが声明を発表しています。マララさんは極限状態での教育の重要性を訴えておられるので、少し次元を異にしますが、学校という場をペンの暴力で攻撃され、安心して教育を受ける権利と名誉が侵害され続ける理由が、女の子であるから、という日本社会を考える時、マララさんの講演や活動が問いかける問題は、愛子さまに向けられるペンの暴力が浮き彫りにする社会の歪みに重なります。

マララさんの講演というと、「私たちが求めているものは特別なものではなく、一冊の本と一本のペンです」というフレーズばかりが報道されますが、マララさん

んは繰り返し、「女子が平等に教育を受けることができる社会」と、「子どもの教育を守るための大人の責任と義務」についても述べています。愛子さまが求めておられるものも特別なものではなく、13歳の生徒が義務教育を受けるに相応しい静かな環境だと思えます。それがどうでしょうか？ 皆さま書いておられますが、週に1・2度の遅刻や欠席が翌週には記事にされ、通学状況を探る記者に学校周辺を徘徊され隠し撮りされ、時間割から苦手科目を推測され、存在するのか否かも分からない上級生や学校関係者の真偽不確かなコメントでバッシングされ、それらが新聞広告に大見出しで掲載され、それは電車の吊り広告になり、時をおかずにネットでまで配信されます。これでは普通の神経なら参ってしまいます。これが、憲法で教育権を定め、児童の権利条約に批准している国の報道機関がすることでしょうか？

愛子さまは公人であり、一般的権利の享有主体ではないという意見もありますが、愛子さまに加えられるバッシングは皇族（公人）を理由としたものすらありません。なぜなら、男子と男子の姉の静謐な生活と学習環境は、マスコミに罰則を課してまで守られているからです。そもそも皇族とはいえ、13歳の女の子の（学校）生活を侵すような表現の自由は、マスコミにも許されているはずがありません。

この非情な報道が放置される理由は偏に、女性天皇の誕生を阻止したい、愛子さまが天皇陛下に相応しくないというイメージを植え付けたいということに在り、そのためならば、13歳の女の子の（学校）生活を脅かす報道が罷り通る社会。この異常な言論界と、それを放置する社会の歪みはいずれ、言論界と我々国民に跳ね返ってくると思えます。その時では遅いのです。

ノーベル平和賞の共同受賞者は、「1人の子どもが危機にあるということは、全世界が危機に瀕しているということだ」と述べています。愛子さまバッシングが投げかける問題は、国民一人ひとりが正面から考えなければいけない普遍的問題を含んでいると考え、子どもの学習権を侵すマスコミ、女の子の命を軽んじる風潮を醸成している全てに抗議します。とりわけ、学習書籍を出版している小学館には、強く、強く、抗議します。

以下は、マララさんの国連での講演の一部です。ここに普遍的価値を見出しているノーベル平和賞受賞だと考えると、先進国を自任して半世紀が過ぎる日本として（その国の報道機関であり大人として）、恥ずかしくはないでしょうか。

（引用開始）今日、私たちは世界のリーダーたちに、平和と繁栄のために重点政策を変更してほしいと呼びかけます。世界のリーダーたちに、すべての和平協定が女性と子どもの権利を守るものでなければならぬと呼びかけます。女性の尊厳と権利に反する政策は受け入れられるものではありません。私たちはすべての政府に、全世界のすべての子どもたちへ無料の義務教育を確実に与えることを求

めます。私たちはすべての政府に、テロリズムと暴力に立ち向かうことを求めます。残虐行為や危害から子どもたちを守ることを求めます。私たちは先進諸国に、発展途上国の女の子たちが教育を受ける機会を拡大するための支援を求めます。私たちはすべての地域社会に、寛容であることを求めます。カースト、教義、宗派、皮膚の色、宗教、信条に基づいた偏見をなくすためです。女性の自由と平等を守れば、その地域は繁栄するはずで、私たち女性の半数が抑えつけられていたら、成し遂げることはできないでしょう。

●根源にある女性天皇誕生阻止の動き (Dianthus)2014-12-16 08:53:44

執拗な愛子さまバッシングの根源にあるのが、「女性天皇誕生阻止」であるのは明白ではないでしょうか。そのために、13歳の少女を針小棒大にバッシングし、逆に男子というだけで、あるいは男子の姉というだけで、奇妙なくらい持ち上げ賞讃されている。最近の日本は、こうした事実を曲げる報道の歪みがモラルハザードと言ってよい領域に入っていると思う。ばれなければ、嘘も百遍言えば、何でもOKというような。

こうした女性天皇誕生阻止の動きにうかうかと加担するという点でも、小学館という会社の不明さに驚く。女性天皇誕生が日本のプラスイメージにどれだけ貢献するかを考えてみてほしい。日本が女性の存在を認め、その正しい登用を願い、男女ともに人間を大切にす国だということが明らかになる。平等、人権といったプラスイメージを日本国にもたらす意味は大きい。また、過去にしがみつき、改革を恐れる国ではなく、未来を見つめ、必要に応じて変われる国だということを示すことになり、赤字国債を垂れ流しながら行財政改革に及び腰な国という低評価を覆すことにもなるだろう。まじめで努力家で聡明な姫宮さまが将来の天皇陛下だ、そう真っ当に繰り返されることで、日本国民の心が安心し、景気回復にもつながるだろう。考えれば考えるほど、今の混迷から脱却し、日本の明るい未来を引き寄せる方策、変われる日本、平和を愛し、人権意識の高い日本をアピールし得る方途は、女性天皇誕生しかない。それを阻止している輩は、亡国の徒なのだと思わざるを得ない。小学館は亡国の徒なのか。

●危険な勢力が存在しているようです (師走の青空)2014-12-08 02:28:45

「不登校」とは事実と反して書いて書けないから、どうにかして「不規則登校」と国民に刷り込もうとする、学習院女子部の校舎からは見えるはずのない愛子さまの登校の様子まで、まるで教室から見えるかのように捏造表現してまで排斥しようとする、そしてできれば、本当に学校に行けないように追い込む。これはもう、マスコミが自社の利益の都合だけでやることじゃありませんよ。これほどの異様なことが起こるのには、理由は一つや二つではないでしょうし、そうしたいくつ

かの事柄、我々が想像もしないような問題が、さらに複雑に絡み合っ
て起こっているのでしょう。そしてそこに、危険な勢力が存在している
ようです。

雅子さまや愛子さまへのひどい捏造報道がそのまま放置され続け
ているということは、裏返してみれば、こうした報道を今上夫妻が容
認し、さらには促しているということに他なりません。それにしても、
平成の天皇皇后は、後世ご自分たちがどのように評価されるか、論
じられるか、考えたことがないのでしょうか。無理やり作らせた男
孫の出生事情を、永久に隠ぺいできるとでも思っていたのでしょうか。
今、皇室で起こっていることは、平成の時代の宮中で起こった歴史
的事件として記されることになるだろうと思っています。いずれにし
ても、単に報道内容の問題だけではなく、危険なことが起こらなけ
ればいいなど、心配している今日この頃です。

●「男系男子」と「バーストラウマ」(Dianthus)2014-12-19 10:21:43

どちらかの性別の子どもを欲しが
る気持ちが悪いとは言いませんが、「男の子でないとダメ」「女の子
じゃなければいけない」など、「ねばならない症候群」に陥るのはどう
でしょうか。心に留めて欲しいのは、お腹の中にいるときからずっと
自分とは違う性を望まれていた子どもには、その強い思いのせいで
「バーストラウマ」を負ってしまうという説があります。このバース
トラウマは、筑波大学大学院人間総合科学研究科ヘルスカウンセリ
ング学教授、宗像恒次博士が研究されています。宗像先生は SAT 技
法というヘルスカウンセリング方法を開発された方です。その研究
によると、子どもにとってありのままを受け入れられ、認め信じ
てもらえる無条件の愛が胎内期から必要であることが訴えられてい
ます。十分に愛されることで、「自分は生きてもいいんだ」と自分の
存在を認められ、自信をもって生きられるようになるのです。

お腹の中の赤ちゃんは、妊娠 6 週くらいから感情を司る辺縁脳が
できはじめており、胎内での出来事を記憶しているとい
います。したがって、産み分けに躍起になり、「どちらかの性でな
ければならない」という、自分が望まれない記憶は、その赤ちゃん
が自分自身の人生を否定的に捉えてしまう「バーストラウマ」にな
ってしまうというのです。詳細は以下をご覧ください。

・親が男女の産み分けを希望することで、赤ちゃんにもたらす「危険性」とは？

All About 12 月 18 日(木)20 時 45 分配信

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20141218-00000008-nallabout-hlth>

男系男子を標榜し、女性皇族（産まれながらの皇族、内親王、女王のこと。皇配としてあとから女性皇族になった存在ではない）を認めない日本の皇室制度。皇室に産まれた女性は、すべてバーストラウマを背負うことになる。でも、産まれる前にどう思われたか、という心の問題だけならばまだ良い。皇嗣たる子が望

まれる皇太子家に一人子として誕生された少女は、男の子ではなかったというだけで、産まれて以降、ずっとバッシングされ続けるのである。登校状況を暴かれ、プライバシーを悪意をもって丸裸にされ、それどころか、捏造までして、ありもしない作り話まで加えて、叩かれ続けるのである。一方で、男の子や、男の子を弟にもつ女性皇族は、これ見よがしに褒め称えられ、かばわれて、望まれない姫宮として皇太子家に産まれた少女の心をよりいっそう傷つけようとするのである。

どれほど大きな心の傷を負うことになるのか、想像を絶するむごさではないか。そして、恥知らずの小学館はその先鋒を担っているのである。取材もしない、妄想話で、13歳の少女を叩き続けているのである。小学館は、恥ずかしい出版社であるが、そもそも、恥ずかしい皇室を日本の象徴ともちあげて恥じないこの国自体が、問題なのかもしれない。少なくとも小学館はそう思って、自らの愚劣さと卑劣さから目を背けているのだろう。

●**神道原理主義** (へへ人の大曾長ムクワワ)2014-12-20 12:04:50

こうして皆様のお話を伺ってみますと、男系男子皇統主義者というのは、イスラム国と同じメンタリティなのですねえ。イスラム国のイデオロギーはイスラム原理主義なのですから、男系男子皇統主義者は「神道原理主義者」とでもいうべきでしょうか。こういった人たちを見るにつけ、「地獄は善意で敷き詰められる」といいたいでしょうか、フランス王政復古が、ユルトラと呼ばれる絶対王政主義者によって民衆から乖離し、オルレアン家の七月王政へと崩壊していったこととかぶさって仕方ありません。となると、ルイ・フィリップは誰に当たるのでしょうか。

なぜ、佳子さま悠仁さまの問題多い実態は看過されるのですか？

●愛子さま以外の皇族の登校状況は？ (Unknown)2014-12-10 23:20:25

ほかの皇族方は学習院に通われていた頃、一度も遅刻や欠席をしたことがないのでしょくか？ そして皇族としては異例の扱いでお茶の水女子大学附属小学校に通っている悠仁さまは、本当に毎日ちゃんと学校に通っているのでしょうか？ 幼い頃の浩宮殿下、礼宮、紀宮の登校状況は国民にはまったく分かりませんでしたし、マスゴミもストーカーのようにお子さま方に張り付いたりはしませんでした。また、マスゴミは秋篠宮家のお子さまたちには無関心なのか、張り付き取材も全くしないので、本当の登校状況なんて分かりませんよね？ 秋篠宮家のお子さまたちが毎日元気に登校している（していた）という証拠は何も無いわけです。

●嘘も百編言えば (ふんふん)2014-12-04 19:24:01

本来なら成長著しい小学1年生から2年生になられたはずの親王さま。父君からは「えーっと、この1年特に変化はありません」と言われ、母君からは「虫取り、野菜育て、折り紙」と言われ、幼稚園の時から全然進歩がないようです。お茶の水女子大学付属小学校で、どんな学校行事があったかなどは、詳しく説明してくれなくてもいいのです。知りたいのは、小2になった親王さまがそのなかでどう活躍したのか、何をしたのかです。なのに、それについてはまったく言及されない。また、学習院大学に入学してすぐ他大学に移りたかったという佳子さまは、1年浪人するでもなく、学習院大学で取得した単位を活かして編入するでもなく、なぜか中退してAO入試で再受験です。20歳にもなるのに、もう一度大学1年生からやり直すというこちらのほうが、よほど「異常事態」でしょう。

要するに、どう考えてもおかしい、異常事態から目を逸らさせるために、健やかにお育ちの姫宮さまをことさら嘘に嘘を重ねてバッシングしているとしたか思えないのです。どうしてマスゴミは、女性週刊誌は、こんな恥ずかしく情けないことを、しつこくずっと続けているのでしょうか。なぜ日本は、こんなおかしい国になってしまったのでしょうか。せめて私たちが、嘘を百回言って人を騙そうとしている輩の思惑にのせられないように、ゆるぎなく、大事なものをちゃんと見つめるしかないですね。

●中退を美化しようと必死のマスゴミ (かつての大学受験生)2014-12-04 21:12:45

ここ2~3か月の佳子さまのアゲアゲ報道には本当にウンザリしています。中途半端な時期に大学を中退し、裏口疑惑のあるやり方で他大学に行こうとしている一人の皇族のために、マスゴミが必死になっている有様、ほんとうに奇妙です。

批判や苦言が出てもおかしくないのに、マスコミに庇われてばかりの佳子さまは、年下で格上の愛子さまが何も問題がないのに悪意の記事ばかり書かれているのと対照的です。

これまで佳子さまの学習院大中退とされた理由は、「学習院が悪いから」「東宮ご一家が悪いから」「元々ほかの大学に行きたかったから」「英語に興味が出たから」「ダンスがしたいから」。そしてまた「愛子様と学習院が悪いから」のループ。コロコロ変わり過ぎだし、どの理由も「学習院大を中退してでも他大学に移りたい」という理由にしてはあまりにも弱すぎ、説得力皆無です。言っている当人たち（佳子さまや秋篠宮ご夫妻）はおかしいと思わないのでしょうか？ そもそも佳子さまは、学習院大に入学後わずか一か月程度で不登校状態になったそうで、必修もサボり、単位はもらえない、進級できない、よって4年間での卒業も無理、となるのは当然のことでしょう。佳子さまは単純に成績不良で学習院大側から三行半を突き付けられただけなのではありませんか？ それをごまかし美化するために雑誌記事は佳子さまアゲに必死ですが、あまりに辻褃が合わないことが多く、ボロが出ているようにしか見えません。

●不祥事から目をそらさせるための公務？（なすび）2014-12-09 23:58:54

敬宮さまが不登校だと心配するふりをして、『週刊ポスト』は、皇室担当記者のこんなコメントを掲載しています。

（引用開始）一方で、前出の皇室担当記者は訝しがる。「今回の宮内庁の発表には違和感がありました。愛子さまの不登校問題に国民の関心が向かないようにテニスを始めたことが発表されたのではないかと思うくらいでした。きちんと現状を説明されないだけに逆に問題の根深さを感じてしまいます」。

そのまま、秋篠宮家のお子さまたちに返したいコメントです。佳子さまが、「ごこーむ」といって、お母さまについて出歩いているようですが、それって立派なことですか？ 入試を控えた全国の学生たちが必死に勉強をしている今、「ごこーむ」と称してふらふらと出歩くことが、褒められることですか？

●取材されず書かれない佳子さまの不祥事（木枯らし）2014-12-11 00:36:14

人を介して聞いた話ですが、高校時代の佳子さまはよく授業をさぼり、ふらつと教室からいなくなっていたそうです。午後からの授業のさぼりが多かったとか。どこに行って何をしていたかまでは知らないそうですが、ボーイフレンドはいたようで、実際、報じられていましたね。とりあえず学校へは行っても、途中でさぼったり、授業時間中に校外に遊びに行ったりすることは、マスコミ的には OK なのでしょう。カ○アゲで停学処分になったという噂もあり、いずれにしても素行が悪いという印象は定着していたようです。大学に入って早々に登校せず、

ずるずる学校に行かないまま1年半というのも、高校時代にその萌芽があったのでしょう。どうして、こうした佳子さまの状況を全く取材せず、書かず、愛子さまには嘘や憶測で塗り固めた嫌がらせを書くのか。いろいろ裏事情があるのは確実でしょう。それにしても、こんな佳子さまのために税金を3000万円もかけてティアラを作るというのは、納得できない気持ちです。途中退学に裏口入学ですよ。この後、公務に必要と称して湯水のごとく衣装代を使い、勉強などさらさらする気もないのにご留学、というのが待っています。

●報道規制で公平さを欠く宮内庁(嘘7ポスト)2014-12-13 01:38:07

雑誌の捏造による愛子さまバッシングに対して宮内庁がホームページで反論しても、その効果らしきものは一月ももちません。11月7日、宮内庁は週刊文春の捏造記事に対し、以下の抗議を掲載しました。

・「週刊文春10月30日号」に掲載された「セラピーが必要」と洩らされて…美智子さまが憂慮される 愛子さま「独りぼっちの特別授業」と題する記事への対応

<http://www.kunaicho.go.jp/kunaicho/koho/taio/taio-h26-1107.html>

ところが、今週発売の週刊文春にはまた、宮内庁関係者しか知り得ない情報で敬宮さまがバッシングされています。しかも宮内庁が抗議した見出しを引用してのバッシングです。内容が事実でないなら反論するべきでしょうし、事実であるなら両陛下と敬宮さまがお話しになった内容が漏れていることから、その場に同席した宮内庁関係者による情報漏えいが疑われるので、しかるべき対処をするべきでしょう。

宮内庁は存在感の薄いホームページで、「愛子内親王殿下のご成長にとり大切な静かな環境の確保を妨げる取材活動を行い、あり得ない事実に基づく記事を掲載して読者に誤解を与えるなど、その対応は極めて遺憾であり、同編集部はその旨を伝えてきましたが、改めて良識ある対応を強く求めました。」と、こっそりアライバイ工作のように書いていますが、これほど酷いバッシングが起きているのに、秋篠宮家と同様に「罰則付きの報道規制」(注3)で守って差し上ないのは、公平さを欠いています。

●出来レースの裏口入学は賛美(auxilia)2014-12-16 14:42:05

愛子さまの登校の様子、勉強の様子、友人関係や他の保護者の様子は、どこの誰から取材しているのですか？ 愛子さまのことを報道するなら、秋篠宮家の姉弟たちの成績は、登校の様子は、交友関係は、どうなのですか。一方だけを納得できないことばかりで叩きに叩きまくり、もう一方は、どう見ても出来レースの裏口入学なのにその真相は隠して賛美しまくる。あまりにも異常です。ジャーナ

リストであるというプライドがあるならば、ジャーナリズムとは何なのかを今一度しっかりと自問自答して、事実を記事にすべきではないでしょうか。人は必ず死を迎えるものであり、記者の雇い主も、いつかは必ず死を迎えるのですよ。

●不登校の噂がある悠仁さまは報道規制(子を持つ母)2014-12-26 06:51:09

敬宮さまだけが悪く書かれ、眞子さま佳子さまはどれだけ恥ずかしいことをしても擁護されて誉められる。お3方とも皇位継承権が無いことは同じですが、眞子さま佳子さまは二言目には、将来の天皇である悠仁さまの姉上たちとして悠仁さまを支えて云々……と書かれて誉められる。小学館は、他のマスゴミも同じですが、何らかの強い希望とか意向を受けて動いているとしか思えません。将来の天皇である悠仁さまの姉上たち、というのなら、眞子さま佳子さまのふるまいこそ厳しく律していただき、その様子をつまびらかにするべきなのに、それはせず誉めるだけで、真面目に登校している敬宮さまだけを悪く書く。不登校の噂が出ている悠仁さまのことは、報道規制されている。小学館には、他のマスゴミもですが、ジャーナリズムスピリットは無いと断言できます。

偏向報道の背景には、「権力におもねる報道の腐敗」があります。

●週刊誌は平気でうそをつく (なすび)2014-12-14 16:39:06

東京の方にはあまり馴染みがないかもしれませんが、こちらでは先日亡くなった「やしきたかじん」さんは、絶大な人気があります。たかじんさんについて百田尚樹氏が書いた『殉愛』という本に、たかじんさんの娘さんが訴訟を起こしています。その件について、『文春』と『新潮』が、百田氏を擁護する記事を出したことに對し、田部祥太さんという方がニュースサイトの『リテラ』に、批判を書いています。「やはり出た！週刊誌の百田尚樹『殉愛』擁護記事…文春、新潮は恥ずかしくないのか」というタイトルで、百田氏の本の内容の矛盾を鋭く突いた後、こう締めくくっています。「いくら本が売れないからといって、一人の売れっ子作家にここまですがり、事実をねじ曲げてでもその作家を守ろうとする――。彼らは自分たちの姿をみっともないと思わないのだろうか」。

週刊誌というのは、自分たちの都合で、でたらめを書くのだということがよくわかります。東宮家バッシングには、どんな都合があるのでしょうか。

●バッシングも相手次第の雑誌と「週刊誌皇室」 (Unknown)2014-12-22 14:28:26

故やしきたかじん氏の最後の妻となったAさんを讃美する百田氏の著作が問題になり、その胡散臭さはかなり明るみに出つつあります。しかし、雑誌のほとんどが沈黙を保つか、Aさんの肩を持つような記事しか書かず、テレビもAさんや百田氏を批判する番組はほとんど無いそうです。文春や新潮は「タブーに切り込む雑誌」と一部の人は期待を寄せているようですが、両誌とも百田氏の連載の関係で批判できず、擁護記事しか掲載していません。どちらも東宮ご一家バッシングに関わってきた雑誌ですが、相手によって（都合によって）バッシング記事を書いたり書かなかったりすることが改めてハッキリ分かりました。

結局、雑誌などというものは、相手によって記事のスタンスを平気でコロコロ変えるものだということです。弱い者、反論できない立場の人、そういう人たちは徹底的に叩くくせに、強い組織に守られている者、バックに怖い人がついてる者、連載などの兼ね合いで叩けない人については見ないふりをする。皇室記事も同じようなことが起きているのでしょう。天皇皇后や秋篠宮一家はどういう勢力を味方に行っているのか知りませんが、どんな行動をしても一切叩かれず、一方で東宮ご一家は些細なことで嘘や捏造も交えて徹底的に叩かれる。東宮ご一家にはマスコミに圧力かけるような反社会的勢力が何もついていない、クリーンな方々なのだと分かります。

対象によって態度を変える雑誌しか出版されない今の日本に、真のジャーナリ

ストなど存在しないのでしょうか。小学館も新潮社も文藝春秋社も朝日も、理不尽な東宮バッシングをする雑誌はすべて、同等に批判にさらされるべきと感じます。しかし、息のかかった週刊誌に自分たちの称賛アゲ記事を書かせ、気に入らない皇族を一方的に叩き潰すような記事を書かせて悦に入っている「週刊誌とともに歩む皇室」というものは、哀れで悲しいことですね。そういう「週刊誌皇室」を作り上げたのは美智子皇后だと言われていますが。東宮ご一家のバッシング記事は非常に不愉快ですが、美智子皇后を天皇陛下以上に崇め奉る今の週刊誌記事も不快きわまりない。あまりにも偏った内容の記事を書きすぎて、かえって怪しい・胡散臭いと思われることに皇后は気付いているのでしょうか。

●ペンは何人を殺します (kaonashi)2014-12-27 03:25:59

週刊誌が芸能界のスクープを掲載するもしないも裏に取引があることを、もはや誰もが知っています。さらに昨今の、百田氏の著作の一件を通して、情報を歪曲して掲載する、またはわざと何も掲載しない、といったやり方で情報操作がなされていることに、大勢の人が驚き呆れたのではないのでしょうか。週刊誌は金で動くということが、これでよく分かりました。ジャーナリズムなど欠片もありませんね。雑誌は東宮家を貶めると、どこからかお金が貰えると思われても、致し方ないでしょう。しかも、判で押したかのように、一斉に各雑誌が同じ報道をする。一定の情報提供者がいるかのように。「学習院関係者」、「皇室関係者」とは誰なのか？ 彼らは、職務を利用してあることないことをマスコミに話して、免職にならないのかと疑問です。

なぜ、貶めるのでしょうか？ 敬宮さまに皇位継承権はありません。叩く必要がありますか？ ただ悠仁さまを崇めていればいいではないですか。何を恐がっているのでしょうか？ しかし最近では、皇太子さまも雅子さまも、吹っ切れたような明るいお顔を見せています。おそらくは愛子さまもそれに従ってらっしゃるのではないかと思います。愛子さまの周りにはいつもお友達がたくさんいるような写真ばかりが出ますし、分かる人は分かっているからそれでよいと思われているのかもしれない。それでも、未成年の少女に対して、いつでも見張っているかのような、そして些細なことをいかにも重大に騒ぎ立てる、このやり方に憤りを感じます。我々がネットで適当に書いているのとは訳が違います。腐っても雑誌です。ペンの武器を持っていることを忘れてしまったのでしょうか。それとも、その武器で殺したいのでしょうか。

●マスコミという職業について (師走の青空)2014-12-26 23:08:44

女性セブンをはじめとする一連の週刊誌の滅茶苦茶ぶりには呆れるばかりですが、しょせんこういうマスコミの仕事って、いい加減で何の責任もないものなん

だ、と強く感じた出来事が最近ありました。ペヤングカップ焼きそばの虫混入騒動です。このことで、製造元の「まるか食品」は、すでに全国に出回っている当該商品を大量に回収して廃棄し、なおかつ、現在、すべての商品の製造・販売をストップしています。そして、製造・販売ストップが数か月続くことから、この会社の経営危機が噂されています。この対応について書かれた記事を読んで、結局まともな仕事とはこういうものなんだと改めて思いました。もちろん、異物が食品に入っているのは許されることではありません。しかし、被害が出ているわけでもないのに、人の口に入る食べ物を作る会社ともなると、さして大きな会社でなくても、これほど厳しい対応を迫られます。

企業としては、まるか食品より朝日新聞や小学館など有名マスコミの方がはるかに社会的に高く評価されています。でも結局、マスコミって責任がない仕事なんです。嘘やねつ造記事で大変な報道被害を受けた人は数多くいるでしょうが、その被害がどれほど深刻なものでも、「言論の自由」をうそぶいていけば責任も後ろめたさも感じずにすみすし、裁判になったところで、賠償額なんて全く大した額じゃありません。嘘でも何でもセンセーショナルに書いたもの勝ちです。つまり、マスコミの流す記事なんて、ペヤングカップ焼きそばに遥かに劣るものなんです。昔は、週刊誌はもとより新聞記者などマスコミの仕事は非常に蔑まれていました。まっとうな生業ではない、賤業であると。職業に貴賤はないと言いますが、ここまでくると、やはりあるとしか言いようがありません。

(注 1) 当該記事に対する抗議コメントが寄せられたページ

■小学館よ、恥を知れ！>捏造で13歳少女を叩く『女性セブン』『ポスト』に怒りの声続々

<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/e02ba33adca867b871950b0445dfe14c>

■佳子さま「退学とズル合格」隠しのために愛子さまを叩く『女性セブン』の大嘘

<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/7fba5eb7ee9d25051cd6096fb3311945>

(注 2) 悠仁さまの過剰警備：悠仁さまの通学警備地域を管轄する大塚署が2013年8月、紀子さまの期待に応える警備をしたという理由で、「警視総監賞」を受賞。古くから近所に住む主婦が犬の散歩をしても毎回職質を受けるほどの厳戒態勢がしかれている。幼稚園時代から続く過剰警備についての詳細は下記ページ参照。

■検証：悠仁さま運動会の観覧制限や私服警官による職質は「皇室特権」の濫用では？

<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/d2dee0842e432061600377a9c1980b37>

●悠仁さまの報道規制の流れ：ベールに包まれた幼稚園時代から小学校へ

<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/f88f8af836435c882bf4cf33331359f5?st=1#comment-list>

(注 3) 悠仁さまに対する「罰則付きの報道規制」

東宮大夫が「内親王殿下の御通学には静かな環境が確保されることが必要でございますので引き続き御協力お願い致します」と繰り返し要請しても、マスコミは愛子さまへのストーカー取材を止めない。しかし、悠仁さまについては宮内庁から記者クラブに対し「罰則付きの報道規制」が申し渡され、厳守されている。

■検証：皇室の性差別報道――愛子さまを執拗にストーカー、悠仁さま不登校は隠蔽

<http://blog.goo.ne.jp/index2013/e/a000e55726b5d10e7fe6e0b4edb6c44e>)